「それぞれができることをやろう」東由岐防災会がマスク500枚を製作し、各世帯へ配布

東由岐防災会では新型コロナウイルス感染症対策の取り組みとして、防災会の女性役員と会員有志の計16名が中心となりマスク約500枚を製作。東由岐地区全172世帯に、一世帯につき2枚ずつが配布され、残りは防災倉庫に備蓄されました。「それぞれができることをやろう。」そんな思いに賛同して集まった人々が協力・協働し、当初の目標を大幅に上回る数のマスクを作ることができたそうです。大変なこともあったけれど楽しんで取り組めたと、東由岐防災会 会長の北山朝彦さんが話してくれました。「自主防災は、一人ひとりが当事者意識を持って、様々なことに対応していかなければならない。マスク製作を通じて地域の連携が深まればと思って取り組んだ。防災意識の継続にもつなげていきたい。」

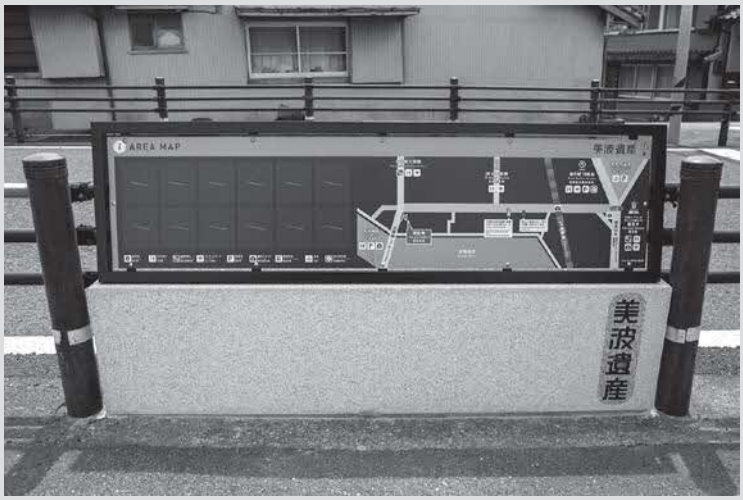
そう語る北山会長も、もちろん手作りマスクを着用。ポップでカラフルな布で作った立体マスクは地域の方々からも好評で、柄を選ぶ楽しみも生まれたとのことです。

「必要な備えをまずは自分たちの手で。」安全安心な暮らしを自分たちの手で守るこうした活動は、「にぎやかそ」の根幹であり、町も一丸となって取り組んで行きたいと思います。

東由岐防災会の手作りマスクはとってもカラフル！

桜町商店街の観光案内看板、「美波遺産」完成！

平成27年から取り組んでいる薬王寺門前町再生事業の一環として、桜町通りの2カ所（薬王寺側入り口、厄除橋付近）に、新しく観光案内看板が設置されました。看板には地図と合わせて、「美波遺産」として桜町通りの観光スポットが紹介できるデザインになっており、店舗情報や観光案内も拡充していく予定です。説明文は英語も併記されていて、外国人観光客やお遍路で来られる方など、美波町を訪れる多くの方々に向けて「適切」で「わかりやすい」情報を届けていきます。



「美波遺産」観光案内看板（厄除橋付近）

■住宅やオフィスとして利用できそうな物件や「にぎやかそ」な取り組みについて情報提供をお待ちしています。　役場政策推進課 ☎77-3616

制作：美波ふるさと創造広報チーム